

G空間情報センター

ニュースレター 第35号 2023年1月発行

【目次】

[1. TOPICS G空間情報センターシンポジウム～発災時、G空間情報でできること～開催報告](#)

[2. 上位アクセス状況\(集計期間：2022.11.1-12.31\)](#)

[3. 最新のお知らせ](#)

[4. 東京23区および全政令指定都市の超高解像度航空写真を提供～正確な位置情報でインフラDX・デジタルツイン・高精度地図・損害保険査定等に活用～](#)

[5. 注目のコンテンツ紹介](#)

1. TOPICS G空間情報センターシンポジウム～発災時、G空間情報でできること～開催報告



G空間情報センター 副センター長
井上 陽介

昨年12月9日(金)、「G空間情報センターシンポジウム～発災時、G空間情報でできること～」を開催いたしました。今回もオンライン開催となりましたが、200名を超える多くの皆様にご視聴いただきました。本記事では、シンポジウムの内容をダイジェストでご紹介いたします。

1. G空間情報センターのこれまでの歩み

G空間情報センター（以下、当センター）副センター長として、他機関・データプラットフォームとの連携拡充の状況等の直近1年間の主な取り組みをご紹介しました。また、今後の取り組みとして予定している、当センターでの法務省の登記所備付地図データ（XML）公開に伴う加工データの提供等についてお話ししました。

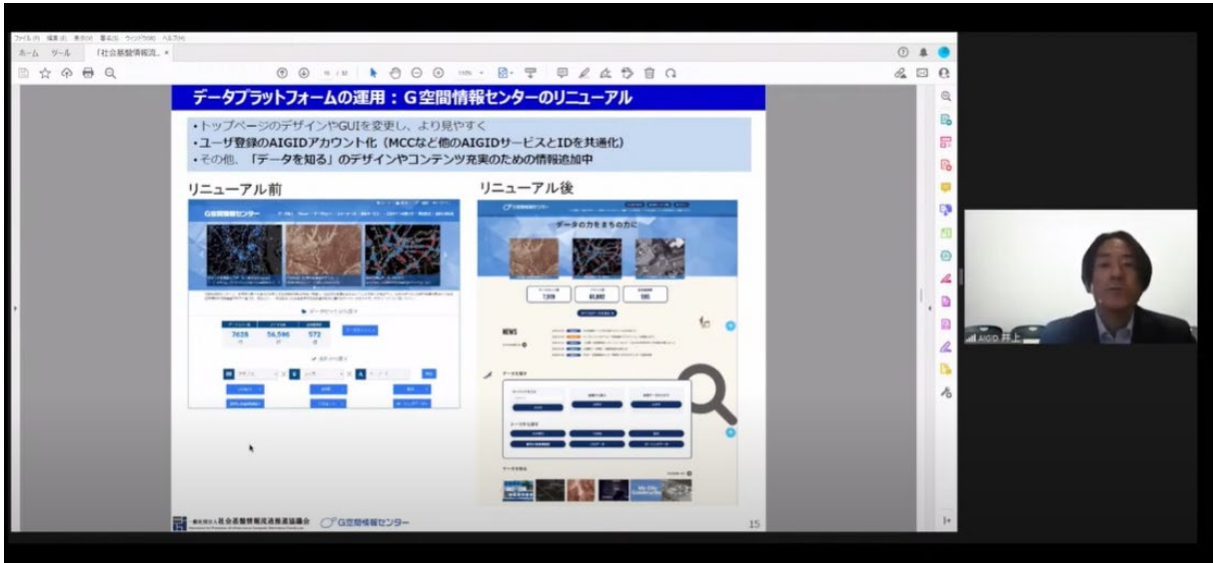


図1 G空間情報センターのこれまでの歩み

2. 基調講演：全国ハザードマップ～「GISで災害から命を救う」ための課題とは～

NHK 浅野様・大石様より、昨年6月放送のNHK番組のWEBコンテンツとして制作された「[全国ハザードマップ](#)」について、作成の経緯や今後の展望についてご講演いただきました。全国ハザードマップとは、国・都道府県・市区町村から収集した災害リスクデータを一元的に集約し可視化したものです。データの収集や整形のご苦勞や、サービス公開後の反響について、直接関わられたご担当者ならではのエピソードをお話いただきました。



図2：基調講演：全国ハザードマップ～「GISで災害から命を救う」ための課題とは～

3. 講演：災害情報分野におけるG空間情報を用いた取り組み

社会基盤情報流通推進協議会（以下、AIGID） 大伴より、災害時における車両の通行実績や航空測量会社による空撮写真を掲載・公開する [リアルタイム災害情報サービス](https://www.geospatial.jp/disaster-info/) についてご紹介しました。また内閣府遊佐様からは、大規模災害時に被災情報等のあらゆる災害情報を集約・地図化・共有して自治体等の災害対応を支援する [ISUT](https://www.isut.jp/) の取り組みをご紹介いただきました。いずれもG空間情報を用いた効果的な取り組みとして、発災時の復旧作業や災害対応業務等での活用が広がっています。

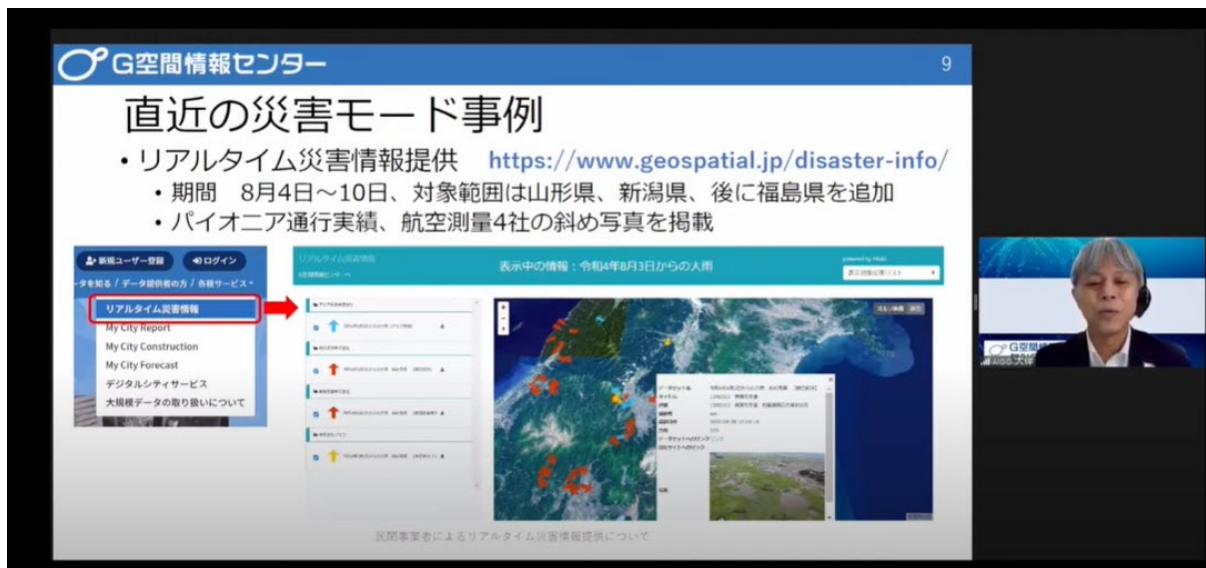


図3：講演：災害情報分野におけるG空間情報を用いた取り組み

4. 座談会：発災時、G空間情報でできること

シンポジウム後半は、NHK 捧様・浅野様・大石様、東京理科大学二瓶様、AIGID 関本により、前半の各ご講演を踏まえ「発災時、G空間情報でできること」をテーマに座談会形式でお話いただきました。様々な分野のG空間情報のハブとしての当センターの役割や産官学の機関間の連携、各種取り組みに関する情報発信の方法等について、貴重なお話を伺うことができました。

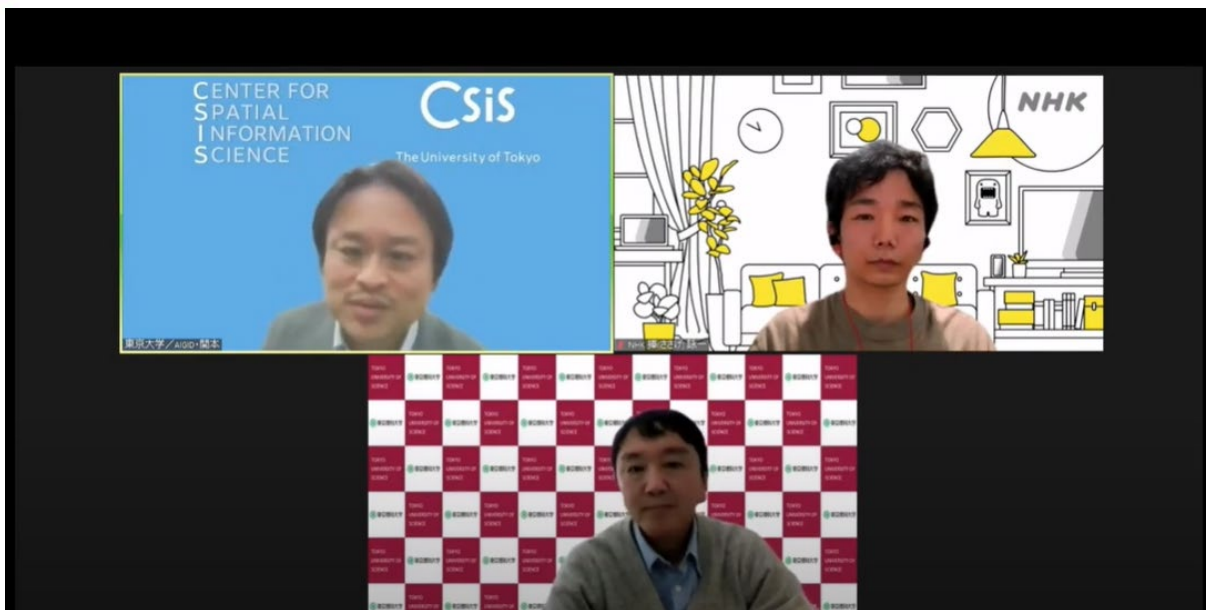


図 4：座談会：発災時、G空間情報でできること

2.上位アクセス状況(集計期間：2022.11.1-12.31)

登録ユーザー数	13,805 名
期間アクセス数	368,782
登録組織数	597 件
データセット数	7,860 件
ファイル数	62,024 件

人気のデータセット

1	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区
2	3D 都市モデル (Project PLATEAU) ポータルサイト
3	全国の人流オープンデータ (1km メッシュ、市町村単位発地別)
4	静岡県 富士山南東部・伊豆東部 点群データ
5	静岡県 中・西部 点群データ
6	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (FBX 2020 年度)
7	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 大阪市 (2020 年度)
8	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 横浜市 (2020 年度)
9	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 札幌市 (2020 年度)
10	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 名古屋市 (2020 年度)

3. 最新のお知らせ

G空間情報センターの最新のお知らせは[こちら](#)
最新のデータ公開情報は[こちら](#)

■ イベント案内 2月1日(水) 19:00-
【G空間情報で海外進出をご検討の方へ】
HERE プラットフォーム オンラインハンズオン (無料)

HERE による **日本初** のオープンハンズオンセミナーです。
貴重な機会をぜひお見逃しなく！
詳しくは↓↓↓をクリック

[HERE オンラインハンズオン詳細・お申し込みはこちら\(Peatrix\)](#)

最新のイベントをいち早くキャッチしたい場合は、ぜひ Peatrix でフォローをお願いします☆

G空間情報センターイベント最新情報は[こちら](#)からフォロー(Peatrix)

4. 東京 23 区および全政令指定都市の超高解像度航空写真を提供 ～正確な位置情報でインフラ DX・デジタルツイン・高精度地図・損害保険査定 等に活用～

国際航業株式会社 LBS センシング事業部
法人営業部 第2グループ
阿戸 健志郎

国際航業株式会社（以下、当社）では、東京 23 区および全政令指定都市における地上解像度 5 cm の超高解像度航空写真（高解像度オルソ画像）のライブラリデータを販売しています。



図1：超高解像度航空写真の活用イメージ

■様々な業界・用途で利活用可能

当社の超高解像度航空写真は、地上解像度 5 cmの解像度を有し、路上の点字ブロックや車止め等まで詳細に判読可能です。超高解像度航空写真から様々な施設や設備が把握できるため、従来の現地調査や現地計測に代わる手段としても活用いただけます。

解像度を比較すると、その差は圧倒的



図2：解像度の比較

超高解像度航空写真は、従来の航空写真オルソ画像の作成方法と異なる画像相関による表層標高データ（Digital Surface Model）を用いた作成方法により、建築物の倒れこみ（中心投影により建築物が倒れて見えること）の無い航空写真オルソです。位置精度は公共測量作業規定の地図情報レベル500に準拠しているため、建物や道路施設物等の地図化や調査、既にある図面の位置の高度化といった様々な用途で幅広く活用いただけます。なお、画像相関による表層標高データ（Digital Surface Model）は、画像解像度と同じ5cm毎に保有しており、電波伝搬解析等に活用できるとともに、デジタルツインやメタバースといった3次元空間の創出にも貢献できるデータです。

超高解像度航空写真の具体的な活用場面としましては、インフラ施設管理の DX への活用、デジタルツインやメタバースでの活用、自動運転や歩行者支援向け地図での活用、そして損害保険業務での活用も想定しております。詳細は下記ニュースリリースをご覧ください。

https://www.kkc.co.jp/news/release/2022/09/27_2699/

今後、東京 23 区および政令指定都市の撮影更新を進めるとともに、販売対象エリアを中核都市等にも拡大する予定です。今後はユースケースを増やし、様々なシーンでの活用を順次ご提案させていただきます。

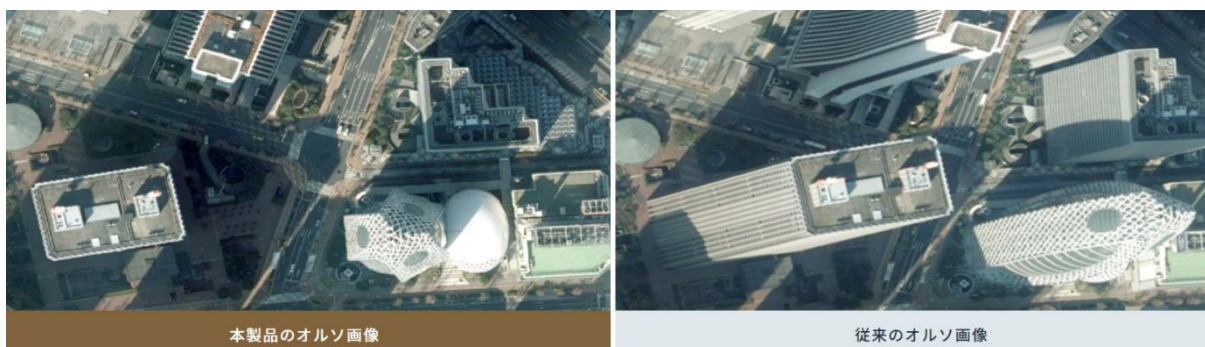


図 3：従来のオルソ画像との比較（ビルの倒れこみが無い）

■関連情報

超高解像度航空写真提供サービス「高解像度オルソ画像」

<https://biz.kkc.co.jp/data/keisoku/ortho/ortho5cm/>

航空写真ホームページ

<https://biz.kkc.co.jp/data/keisoku/ortho/>

■告知

『PAREA-OrthoPhoto 航空写真キャンペーン』開催中。2023 年 3 月 31 日（金）まで。

【キャンペーン対象データ】

- ①当社でライブラリ販売を行っている航空写真データ
- ②代理販売している航空写真データ（GEOSPACE 航空写真）

【キャンペーン価格】

高解像度航空写真含め、通常の販売価格の 10%オフでご提供いたします。

* 詳細は弊社下記問い合わせ先までご連絡ください。

更に、二時期セットでのご購入の場合（例：2022 年度撮影＋過去撮影年度）、セット値引きとして、過去撮影年度の画像を半額にてご提供させていただきます。

PAREA-OrthoPhoto キャンペーン開催中!
航空写真データが通常販売価格の 10%OFF

PAREA キャンペーン期間 2022年12月6日(火)～2023年3月31日(金)

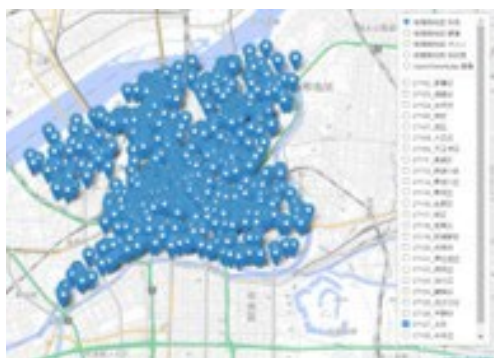
<国際航業株式会社が提供する航空写真データに関するお問合せ先>

LBS センシング事業部 法人営業部

<https://biz.kkc.co.jp/contact/general/?pi=13>

5. 注目のコンテンツ紹介

マップナビおおさかオープンデータ



大阪市が提供している「マップナビおおさか」に掲載されている最新データです。北区だけでも図のようにたくさんデータがあります。大阪市はこれ以外にも地形図や航空写真、土地利用等のデータを公開していますので、趣味や仕事に役立つと思います。

組織（大阪市）

対象データセットは [こちら](#)

過去のニュースレターアーカイブは [こちら](#)

G 空間情報センターの使い方動画を公開中！ [You Tube](#)

G 空間情報センター活用早見表 ([PDF](#))

ご意見・ご要望について

G 空間情報センターは、高度な地理空間情報社会の実現と皆さまの事業の発展に寄与・貢献できることを目標としています。

当センターへのご要望、ご意見、ご助言等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。最後までお読みいただき、ありがとうございました。

G 空間情報センターのユーザーアカウント登録は、 [こちら](#)

G 空間情報センターのご要望、ご意見は、 [こちら](#)

一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-10-5 代々木伊藤ローヤルコーポ 304 号室

メール：info@geospatial.jp

TEL：03-6455-1845

※当ニュースレターの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。